

老健たより

第4号



'94.10.5 いもほり

明るい笑顔、大事にしたいです。

第5回 全国老人保健施設大会	2.3.4
行事紹介 盆踊り大会	4.5
敬老会	
いも掘り	
大運動会	
ひとこと	6
介護シリーズ	
床ずれ(褥創)の手当	6
お知らせ	6

第5回 全国老人保健施設大会で発表

その人らしさを求めて

平成六年七月二十八日・二十九日と二日間にわたり、第五回全国老人保健施設大会が開催され、公立八鹿病院老人保健施設から二題、公立八鹿病院在宅ケア部から一題を研究発表しました。（抄録集より）

施設におけるデイ・ケアの取り組み

—在宅ケアとの連携から—

○旗谷多香子 近藤 清彦
古川 綾子 米田 節子

一、目的
公立八鹿病院は兵庫県北部に位置し、ベット数三百三十三床、一日平均外来患者数一、一〇〇人の地域中核病院である。八鹿町の在宅介護支援センター、南但訪問看護センターも併設され、高齢化率一四・一%と高い南但馬地方の老人在宅ケアの一翼をなつてい

二、方法

一九九三年七月一日より一九九四年二月二十八日までにデイケア利用者の中で在宅ケア部からの紹介者を分析、事例検討した。

デイケア利用者は六十六名

る。当施設は病院併設型の老人保健施設として一九九二年十一月に開設された。在宅でのケアを継続し充実を図る為には、支援システムの確立とそれに関わる人々の熱意と連携が保たれなければならない。特にADLレベルの低い人在宅ケアは本人及び家族に対して何らかの援助がなければ継続は困難である。当施設では、一九九三年七月より在宅ケア部との連携により主にランクB、ランクCの方を対象としたデイケアを開設した。その経緯を若干の考察を加え報告する。

五名、吸引の必要な人十名、経管栄養十二名（経鼻五名、胃瘻七名）膀胱留置カテーテル十八名、（膀胱瘻十名）褥創交換十六名であった。デイ利用者の日課は、Bランクの人は、九時に送迎車にて来所後、血圧、脈拍、体温測定、診察後レクリエーションに参加する。老健入所者と一緒に昼食後、入浴、集団リハビリ後十六時に自宅へ送る。Cランクの人は、送迎車にて来所後、血圧、脈拍、体温測定、診察後ハーバード入浴その後膀胱洗浄、チューブ類の交換、ガーゼ交換等医療処置をする。

経管栄養終了後個別リハビ

りで延べ三八二回の利用があつた。その中で在宅ケア部からの紹介は三十一名であつた。ADLレベルはBランク二十名、Cランクは十九名であつた。

医療処置別では、気管切開五名、吸引の必要な人十名、経管栄養十二名（経鼻五名、胃瘻七名）膀胱留置カテーテル十八名、（膀胱瘻十名）褥創交換十六名であった。デイ利用者の日課は、Bランクの人は、九時に送迎車にて来所後、血圧、脈拍、体温測定、診察後レクリエーションに参加する。老健入所者と一緒に昼食後、入浴、集団リハビリ後十六時に自宅へ送る。Cランクの人は、送迎車にて来所後、血圧、脈拍、体温測定、診察後ハーバード入浴その後膀胱洗浄、チューブ類の交換、ガーゼ交換等医療処置をする。



リハビリテーションの現状と課題

○田原 重穂

当施設は公立八鹿病院に併設された老健施設として、平成四年十一月に開設、当施設内でのリハビリテーション（以下リハビリと言す）の現状と今後の課題についてのべ

り後に十六時に自宅へ送る。

四、まとめ

これらの結果から要介護者の立場からは

①家族以外の人と触れることがにより視野が広がつたり気分転換が出来、広い意味のリハビリとなる。

②計画的に諸用事を済ます事ができた。

老健の役割は在宅での生活を主体として援助する事にあれば、その目的を達成していくには家庭で過せるよういかにフォローしていくかに課せられている。在宅ケア部との連携の中でデイケアを通して情報交換をし実践していく事により、在宅ケアへの支援に役立っていると確信している。

（1）自分の時間を持つ事ができ、リフレッシュにつながった。

（2）計画的に諸用事を済ます事ができた。

たい。

リハビリテーション

一応入所者全員をリハビリの対象者として退所後、家庭での日常生活を出来るだけ自立させ家族の介助量を軽減させることを目的とする。

訓練はあくまで家庭復帰を前提として訓練を行っており、また日々の生活そのものをリハビリの一貫として指導している。

リハビリ施行上の主な問題として、病院での機能訓練を期待するため老健でのリハビリへの移行が難しい。

痴呆を合併した老人が比較的多く、意志の疎通が困難、リハビリの意欲の低下などのためリハビリが進めにくい。

その他施設側と家族との間に大きな二、三のズレがある。

今後の課題

生活動作のなかで「できるADL」から「しているADL」への移行が困難な老人が多いため、そのやる気、又は主体性を引出すべく出来るだけ多くのレクリエーションを取り入れた。

その他入所者と日々接する



○馬袋真理子 谷口さち代

谷岡ますみ 朝日 英美
伊沢けい子 小谷千里
今北 明美 田和 和子
沖田 寛

一、目的

当院は兵庫県北部に位置し、病床数三百三十三床、一日平均外来患者数一〇〇人の地域中核病院である。診療圏は人口約八万人、高齢化率二十四・一%と高齢化の進んだ地域である。当院では、昭和五十六年から院内全体として在宅ケアに取り組み地域在宅ケアシステムを確立中である。十三年間の在宅ケア活動を分析し、公立八鹿病院・老人保健施設・入所者の家庭復帰は家族介助能力に大きく左右されるのでその支援体制を作るべきであり、地域に対しては在宅支援活動を充実すべく協力員、ボランティアの人々との緊密な連絡をとることも大切である。

又家族へのアプローチとして入所者の家庭復帰は家族介助能力に大きく左右されるのでその支援体制を作るべきであり、地域に対しては在宅ケアにおける老人保健施設の意義について報告する。

二、方法

十三年間における院内の在宅ケアシステムの変遷と現在の訪問看護活動の内容と件数について検討した。また、在宅ケア対象者が老人保健施設を利用したこととどのように変化したかを検討した。

三、結果

①院内の在宅ケアシステムの

変遷

昭和五十六年医師と看護婦がボランティアで定期的な訪問を開始した。昭和六十一年保健婦採用により社会医療相談室を設立、平成二年在宅ケア委員会が発足。院内・地域の関係者による在宅介護に関する協議会、要援護者個人情報台帳による地域保健婦との情報交換、高齢者サービス調整チーム会議への参加を開始した。関係機関として、在宅介護支援センター（平成三年）、老人保健施設（平成四年）、

老人訪問看護ステーション（平成五年）が開設された。組織は別々であるが、有機的な連携を図るために従来からの病院訪問看護部、老人訪問看護ステーション、在宅介護支援センターを総括した「在宅ケア部」を組織した（平成五年四月）。

②訪問看護活動の現状

平成五年度の在宅ケア部の活動件数は、訪問看護二四三件、訪問診察一八八件、問リハビリ五一二件、当院救急車で送迎の入浴サービス五七件、内容は入浴・清拭等

ケアの提供から、胃瘻・膀胱瘻、在宅人工呼吸療法・在宅酸素療法の管理等幅広いサービスの提供を行った。

③老人保健施設利用により在宅ケア対象者に生じた変化

老人保健施設を利用した事で患者・介護者ともに気分転換がはかられ、介護者の身体的負担の軽減につながった。

また冠婚葬祭などの急用事は患者及び介護者の社会性の保持につながった。

④結論

①公立八鹿病院では病院、老人保健施設、在宅ケア部の連携をはかり、継続したケアの提供を可能にしている。連携をはかる手段として、在宅介護支援センターから要援護者個人情報台帳をもとに情報提供を行いケア計画の共有化がはかられた。

②よりよい在宅ケアを継続するためには、デイケア、ショートステイサービス等を行っている老人保健施設の役割は大きい。

公立八鹿病院における在宅ケア活動

—老人保健施設・八鹿病院 在宅ケア部の連携—

全国老人保健施設 大会からの感想

介護職員 稲津幸子

去る七月二十八日二十九日

第五回老人保健施設大会が大

阪で開催され参加させて頂きました。会場のロイヤルホテ

ルは、十五階建てのすばらしいホテルでスケールの大きさもさることながら参加者も約

二千六百名でどこも人の波でした。会場も十会場に分かれ、どこに入れば良いのか分から

ない程でさすが全国大会と目を見張りました。それで私はまず今私の一番興味のある介護部門の痴呆とりハビリテー

ションの部門の「レクリエーション」の発表を聞きに入りました。痴呆の介護問題は、どこかの施設も同じ内容のものでした。又レクリエーションをする効果を上げる事が出来るとい

う事が発表を聞き改めて知る事が出来ました。発表を聞きながら感じた事は、それぞれ職種は違うけれど自分の職種にプライドを持ち常に前向きで取り組んで仕事をされてい

る姿勢が手に取るように感じました。痴呆になると社会から排除されがちになってしまふけれど、痴呆の人にこそいかに家族が必要か又家族にどうしての私達介護者の必要性を痛切に感じました。痴呆に関する専門知識を少しでも身に付けて私なりに研究しその人につけて一番良いケアを考え実践して行きたいと思っています。

開設してちょうど満二年が来て行きましたが、「テー

マ」のその人らしさを求めて「ボケても幸せやねん」を合言葉に一日一日を悔いのない

ように私しらしさで頑張って行きたく思って居ります。現代の社会的現状から福祉施設とそこで働く私達介護職員の協調、連携の必要性が何よりも大切かと思います。そして来年も是非この大会に参加出来ればと思います。



行事紹介

盆踊り大会を振り返つて

H 6・8・19

盆踊り大会を

振り返つて

管理課長 本谷国雄

「おはようございます」で

始まる老人保健施設も今日は

何か様子がちがう。入所者、

一人一人が心待ちにした盆踊りの当日である。職員も未知

の分野へ不安な気持でスター

トして一年数カ月、レクリエー

ションは利用者全員が参加で

き、和が広がるよい機会であ

る。開設以来、七月までに入

所者八四六名、デイ・ケア八

十八名のお年寄と接して、施

設で働く職員としてお年寄に

どんな援助ができたかを振り

返りつつ、地域の皆様方をは

じめ、多くのボランティアの

大きなお力添えにより、未熟

な職員をフォローしていただき、レクリエーションをクリ

アしてきた当施設にとって本

日のボランティアさんのご協

力は何ものにもかえがたい援



2 隅										3 隅									
大 関	大 関	大 関	大 関	大 関	横 綱	横 綱	大 関	大 関	横 綱	大 関	大 関	大 関	大 関	大 関	横 綱	横 綱	大 関	大 関	
90	91	92	93	93	95	95	93	93	95	94	95	95	96	96	99	99	95	95	95
藤原 岡崎 こと ふと 一	細見 長谷坂つ じ	正垣 利緒	畠江 かめ	佐木 下民治	根谷 藏	伊藤 かつ子	山中 ふゆ	田村 武夫	西村 トキ	河田 さの	羽渕 さの	渕 さの	羽渕 さの	渕 さの	羽渕 さの	渕 さの	羽渕 さの	渕 さの	羽渕 さの
関脇 84	関脇 85	関脇 85	関脇 86	関脇 87	関脇 87	関脇 87	関脇 87	関脇 87	関脇 87	関脇 87	関脇 87	関脇 87	関脇 87	関脇 87	関脇 87	関脇 87	関脇 87	関脇 87	
岸本 良一	小田垣 たけ	八千代 清	仁井 秀雄	山田 新市郎	竹田 光雄	谷川 内すう	竹内 すう	坂早 茂夫	中島 ひな	藤本 みつゑ	秋山 みつゑ	竹馬 まつゑ	山みつゑ						
関脇 83	関脇 83	関脇 83	関脇 83	関脇 84	関脇 84	関脇 84	関脇 84	関脇 83	関脇 83	関脇 83	関脇 83	関脇 84							
藤岡 艶子	村上 とら	上登ひさゑ	村世 松男	北村 尾松	北村 ひさえ	高垣 こと	高垣 ゆき	大垣 ゆき	中岡 房子	西村 ちづ子	上垣 幸恵	林岡 幸恵	岡あい子						
小結 75	小結 76	小結 77	小結 77	小結 78	小結 78	小結 78	小結 78	小結 79	小結 79	小結 80	小結 81	小結 81	小結 82	小結 82	小結 82	小結 82	小結 82	小結 82	
辻垣 とく	岩尾 浅野	福田 憲男	幸岡 林吉	吉岡 定夫	吉岡 たく	安達 ヤヨノ	安達 喜代子	西本 君	西本 喜代子	寺田 君									
前頭 67	前頭 68	前頭 69	前頭 70	前頭 71	前頭 71	小結 74	小結 74	小結 74	小結 74	小結 74	小結 75								
長村 勇夫	石田 美喜	福田 喜野	佐々 木勇	佐々 木勇	佐々 木勇	尾花 友男	尾花 智津子	田渕 辰彦	西村 辰彦	藤原 ちよの									

寿老人保健施設 御長寿番付表 平成6年9月版

最高齢の方は、大屋町の羽渕つるさん、九十九才でした。



H 6.9.14

職員も大ハッスル



昔なつかしい いろいろな思い出が思い起こされます。



H 6.10.5

いも掘り

レクリエーションの成果を発揮して、大活躍でした。



H 6.10.26

大運動会



利用者からひとこと

関宮町 西谷 博子

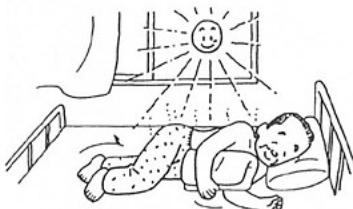
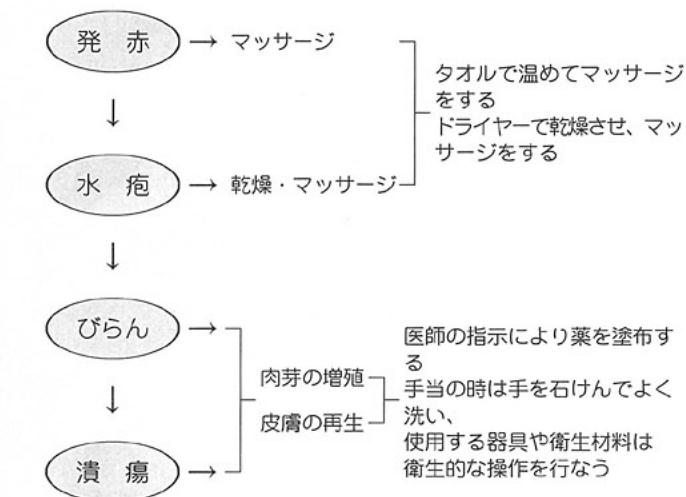
六月初めのある晴れた日の夕方でした。今まで時々痛んでいた腰が、にわかにひどく痛んで立って居れなくなり、椅子にもたれてしゃがみこんでしまいました。

これから夕食のこしらえをどうしようとそのままの姿勢で考えて居る時、娘夫婦が、「何してるん」

と言いながら入って来てくれた時、み佛のおでましかと、嬉しく思いました。八鹿病院に入院し、一ヶ月後に老健に入りました。

最初に会った方達の暗い目の光に驚きました。どの目もどの目にも希望のかけらもない様でした。きめられたお部屋の人達も無口で笑顔もなく冷たい感じで、悲しくて悲しくてたまらなくなり、一日だけの外泊を許して頂いてここに帰つてみますと、部屋がえをして頂き、ここでは何時も唄声が聞こえ、笑顔がたえず、いたらない所を助けあって人の代の恵の中にうづもれて生きているような楽しい日々を喜んで生きています。

床ずれのすすみ方と手当



日光浴20~30分



ドライヤーでの乾燥マッサージ

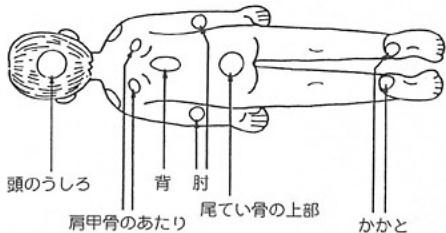
ドライヤーで温風を送りながら、床ずれの周囲を手のひらで円を描くようにマッサージする。

介護シリーズ 床ずれ(褥創) の手当

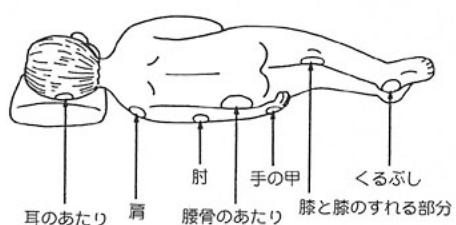
家庭で、寝たきりのお年寄りを介護するうえで、床ずれ(褥創)は重要な問題の一つです。床ずれから病気が悪化したり、それとともに介護も大変になつたりします。そこで、床ずれのできやすいところと、手当のし方を紹介します。是非、参考にして下さい。

床ずれのできやすいところ …骨の突き出したところ

① 仰向けに寝ている場合



② 横向きに寝ている場合



お知らせ

介護教室に
参加しましょ

寝たきりまたはそれに近い方の基本的な介護についての教室です。ご自由に参加して下さい。

日時 12月2日、7日、14日、
21日

午後1時30分~3時30分
場所 老人保健施設 一階

第四回	第三回	第二回	第一回	テーマ
用 リ 制 度 リ ハ ビ	家庭 の世 話 床 ず れ 予 防	清 潔 ② からだの 食事、 排泄	からだの 清潔① からだの 食事の工夫と食べ せ方 排泄の予防 床ずれ予防と手当	内 容 からだの 寝衣シーツ交換 からだの 手浴・足浴 寝衣シーツ交換
保 健 福 祉 セ ン タ の 利 用	腰 痛 予 防 在 宅 介 護 セン タ の 利 用	洗 髪、 入 浴		

日々の暮らしの中でふと思うこと。病気を持ち、障害を持つ人々、そして家族がとても悲しい目をしていること。イライラし、もどかしさをこらえきれない現実がある。人の痛みをどれだけ解りあえるのか。考えさせられる。